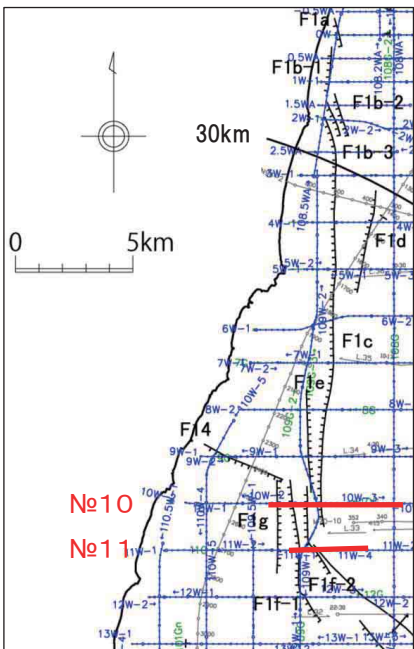
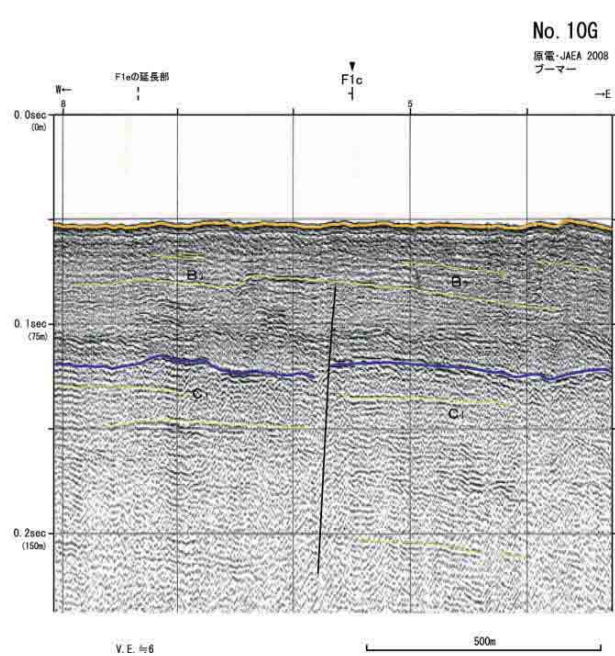
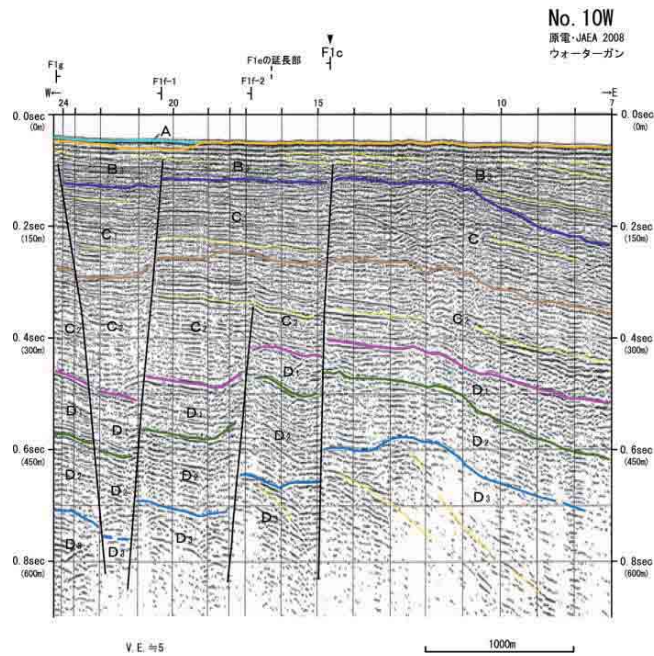


F 1 断層の音波探査記録 (6)

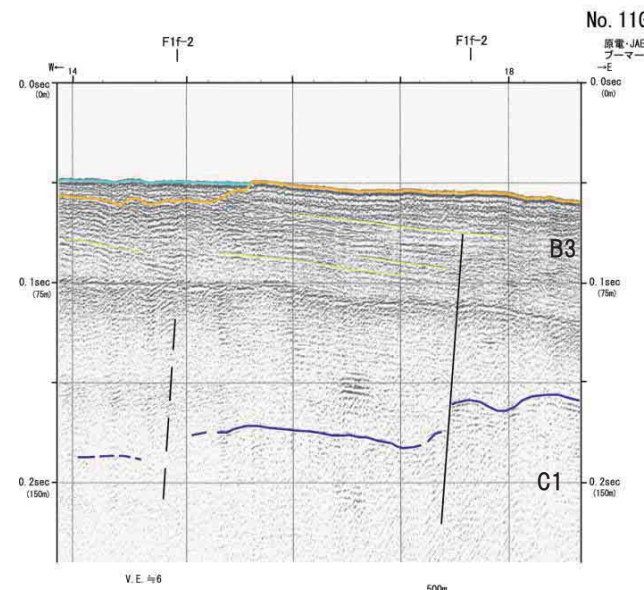
No.10:F1c断層はB3層上部に変位・変形を与えていない。



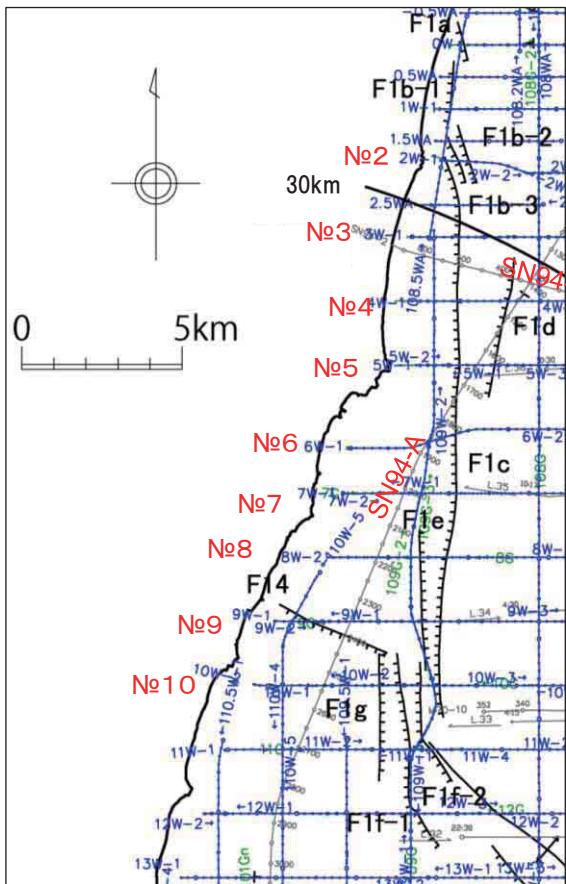
No.10
No.11



No.11:F1c断層延長部に断層は認められない。
F1f-1断層及びF1f-2断層はB3層上部に変位・変形を与えていない。








F 1 断層の音波探査結果



測線名	No.2	No.3	SN94-2	No.4	No.5	SN94-A	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11
地層名												
海底面												
A 層												
B 層	B ₁											
	B ₂											
	B ₃											
C1層												
C2層												
D 層	D ₁											
	D ₂											
	D ₃											
E 層												

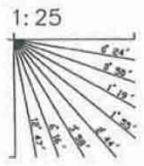
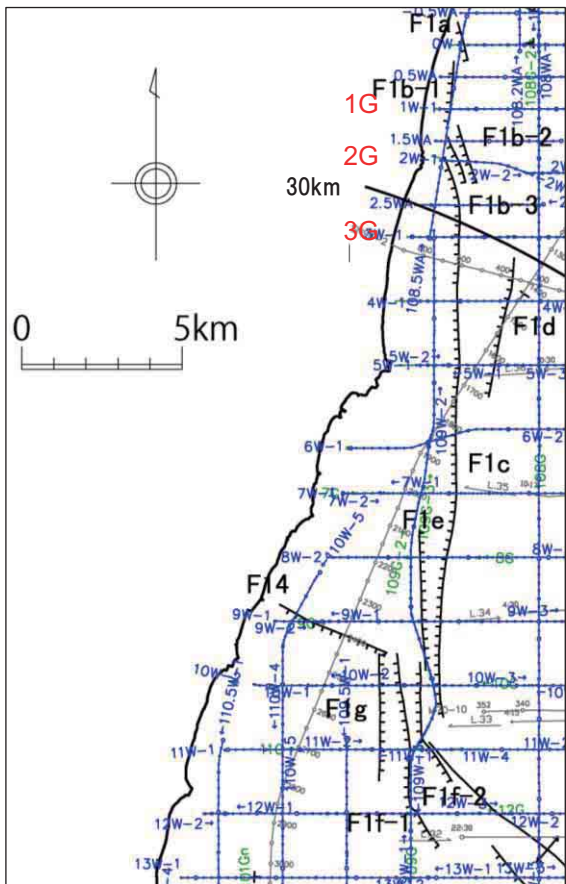
※No.11では、F1c断層は認められず、F1f-1及びF1f-2断層の結果を記載。

凡 例

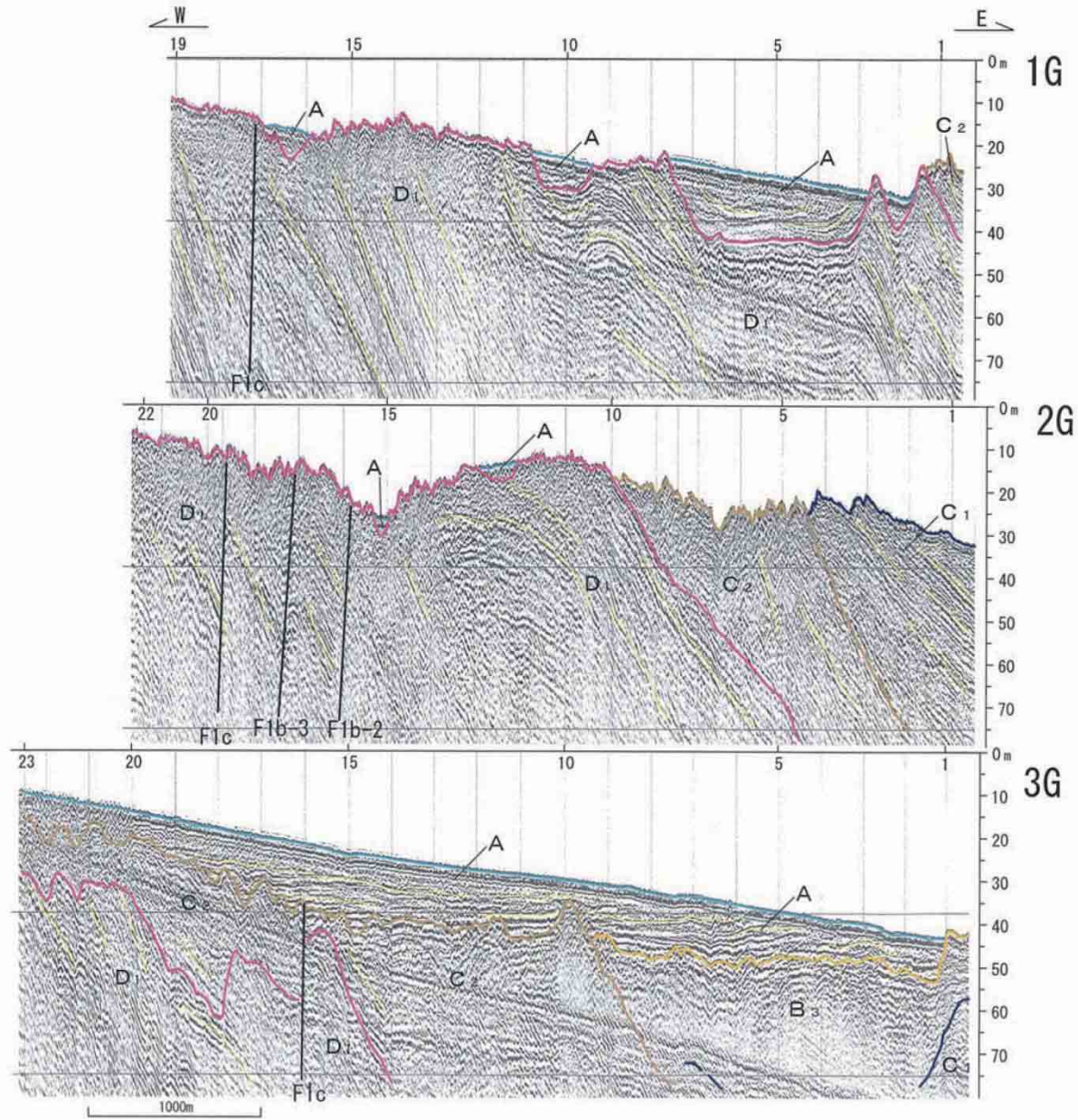
-  断層による変形が推定される範囲
-  断層による変位が推定される範囲
-  断層による変位・変形が及んでいない部分
-  分布しない地層
-  記録の探査深度外または記録が不鮮明なため確認できない地層

・F1断層は、B3層上部よりも新しい地層に変位・変形が認められる箇所はない。

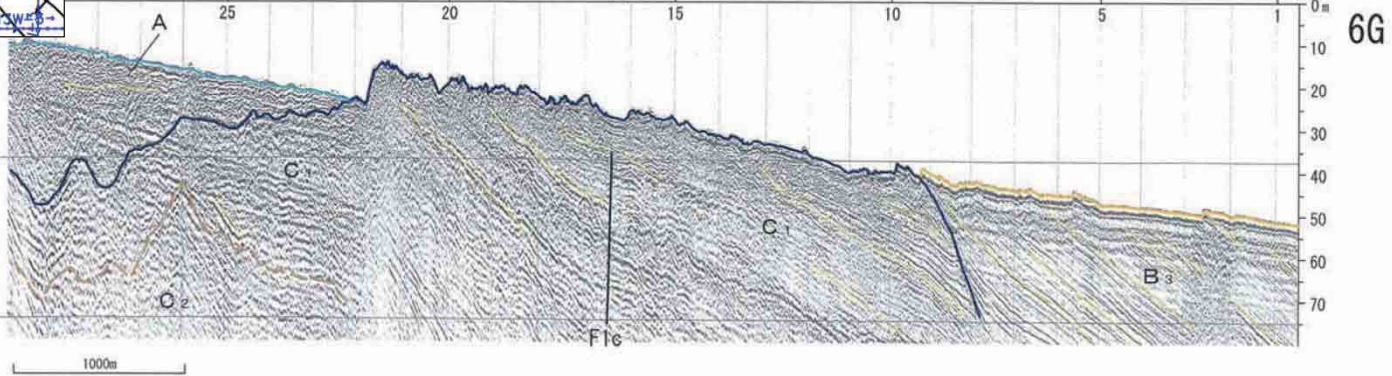
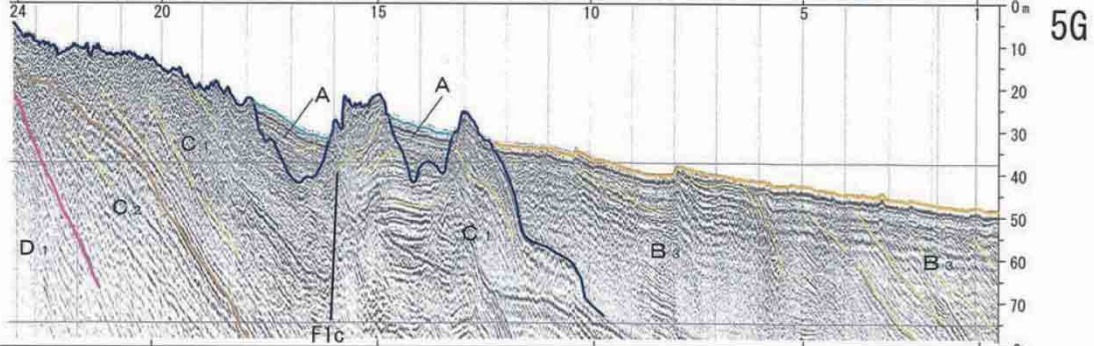
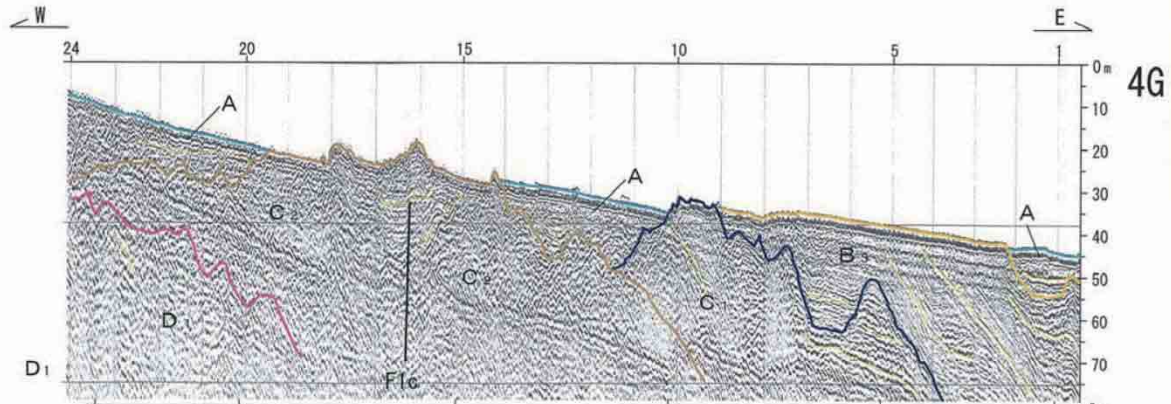
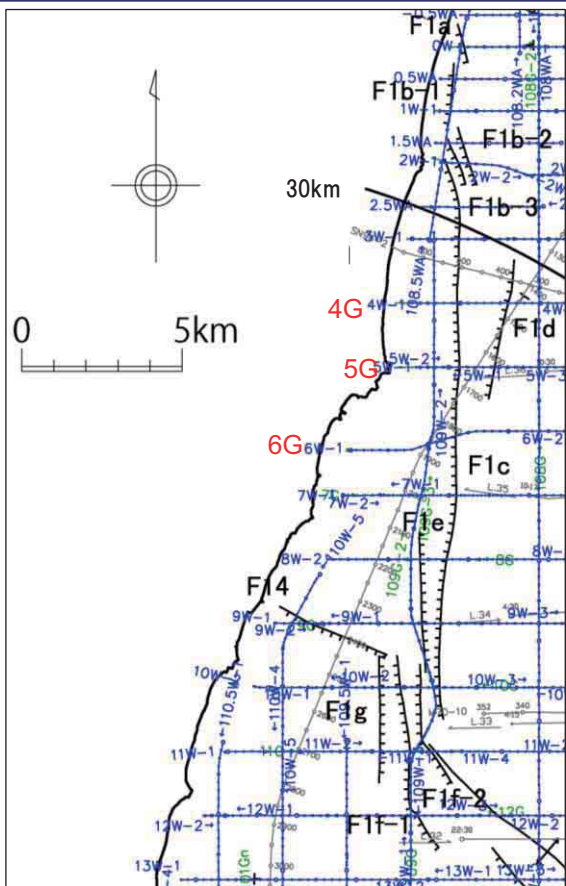
F 1 断層と海底地形の関係 (1)



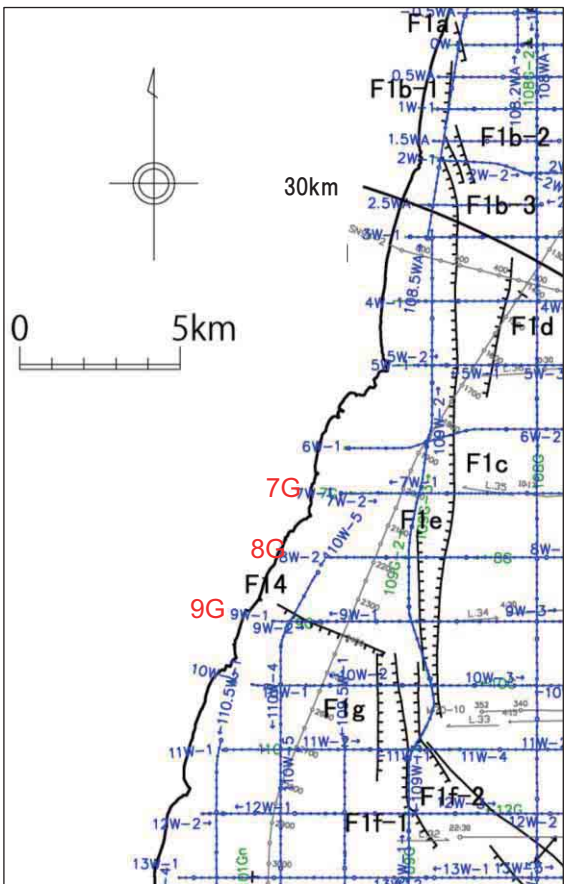
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度
1:25



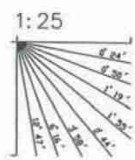
F 1 断層と海底地形の関係 (2)



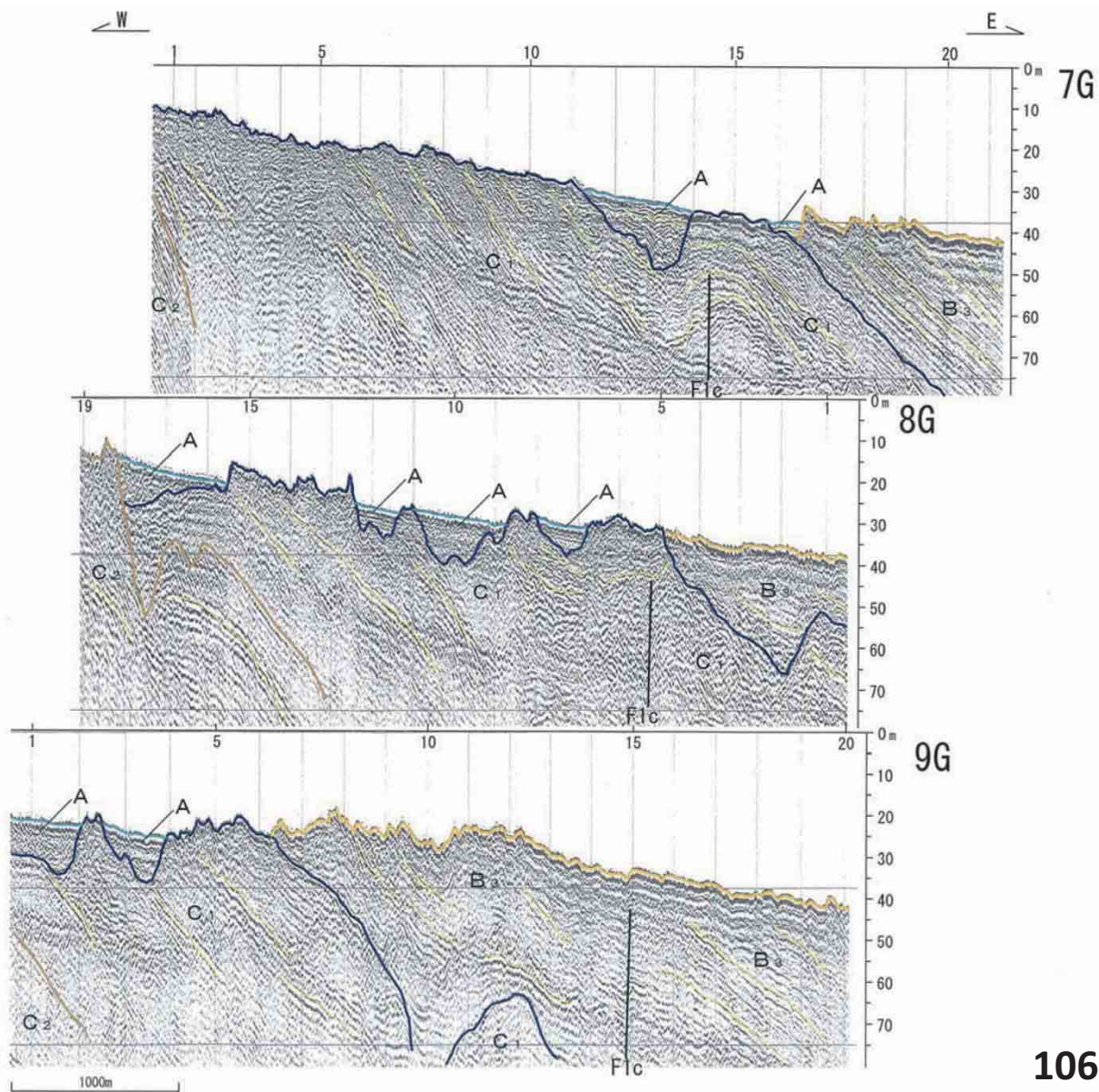
F 1 断層と海底地形の関係 (3)



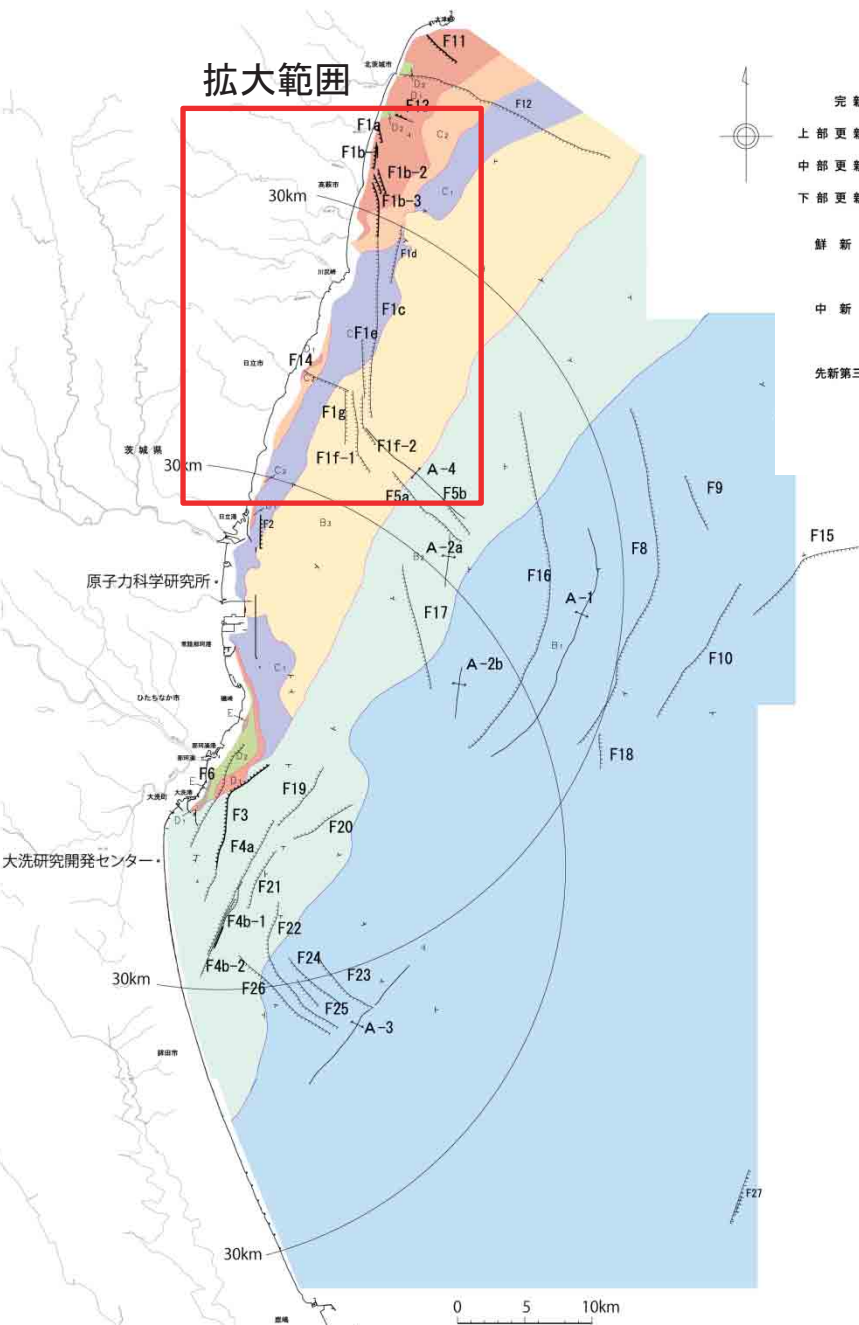
- ・本海域は、海底地形の凹凸が顕著。
- ・断層直上の海底地形は、必ずしも東側が相対的に高い地形ではない。



数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度



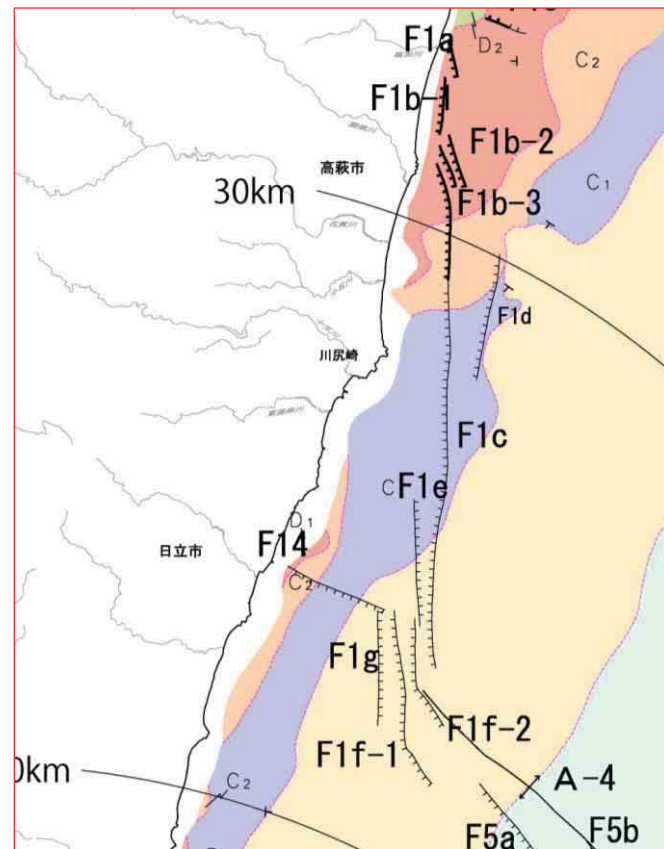
F 1 断層周辺の地質図



凡 例

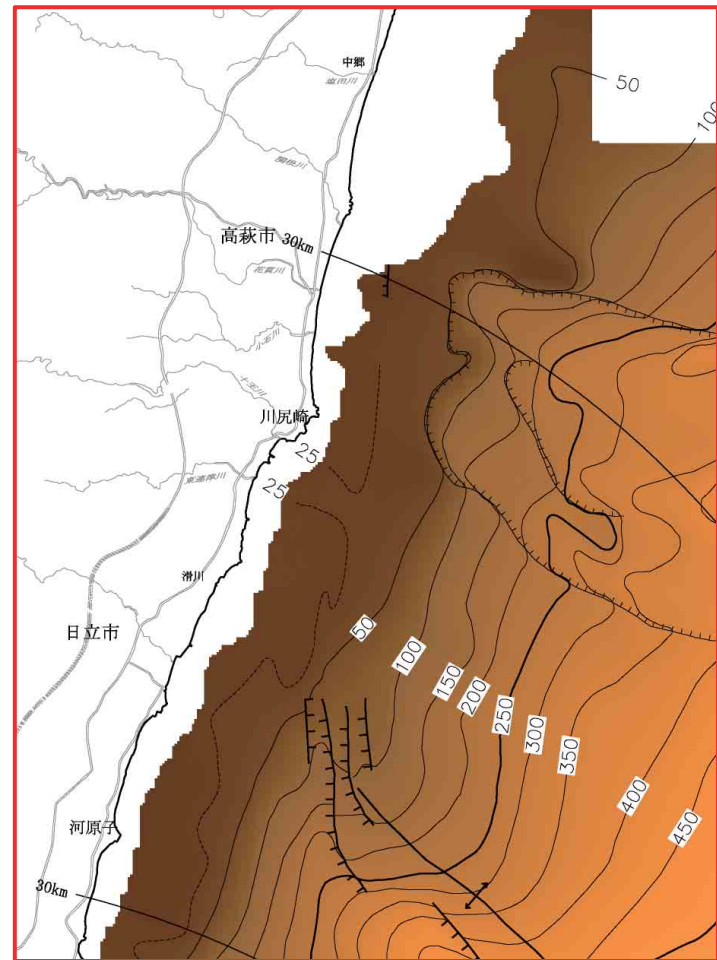
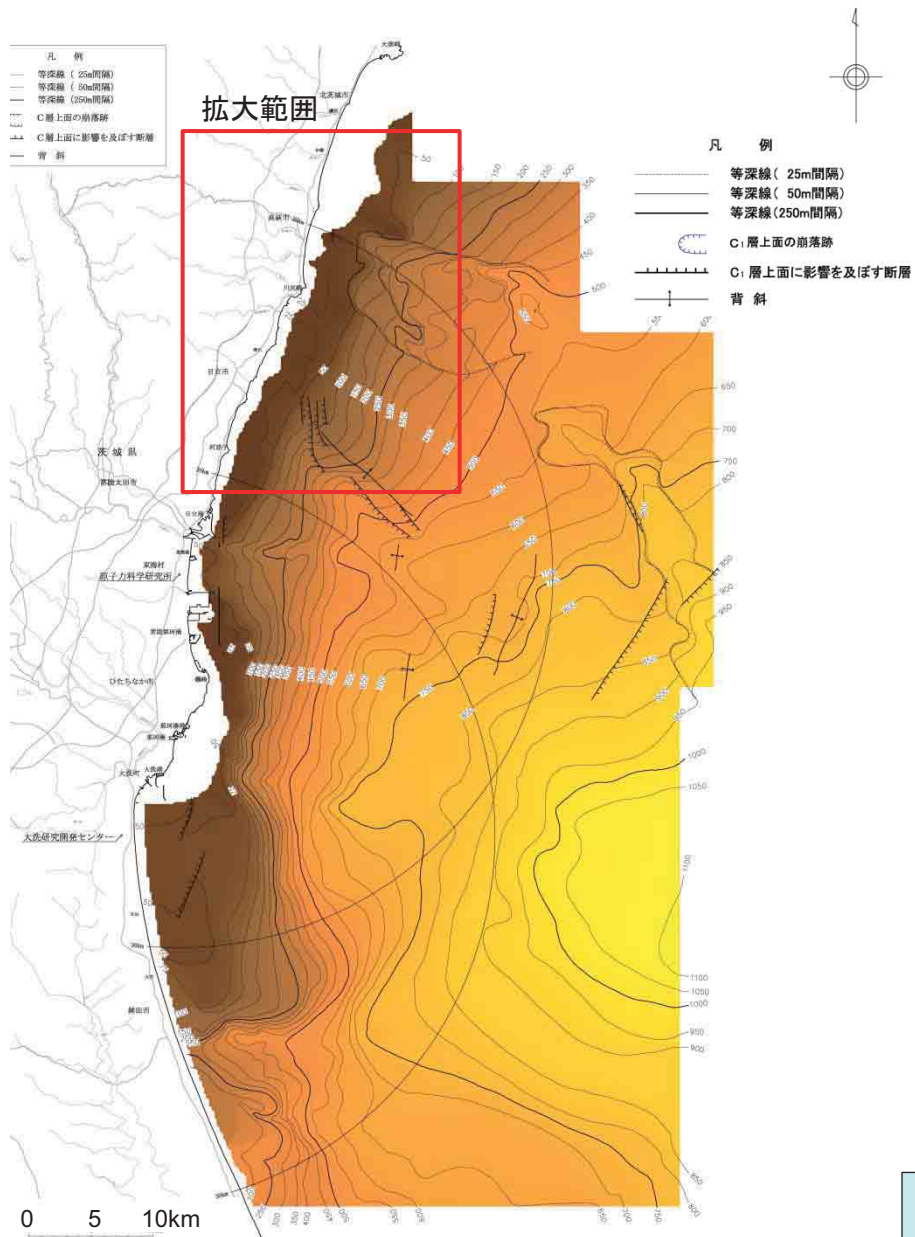
完新統	A	A層 (表記なし)
上部更新統	B ₁	B ₁ 層
中部更新統	B ₂	B ₂ 層
下部更新統	B ₃	B ₃ 層
鮮新統	C ₁	C ₁ 層
	C ₂	C ₂ 層
中新統	D ₁	D ₁ 層
	D ₂	D ₂ 層
先新第三系	D ₃	D ₃ 層
	E	E層

----- 地層境界
(A層を取除いた地質図)



・F1断層は、地質分布を規制するような傾向は認められない。

F 1 断層周辺のC層上面等の等深線図



・F1断層を境に、C層上面の東側が系統的に高くなる傾向は認められない。

・F1断層が、更新世以降繰返し活動し大きな地質構造を形成しているような形跡は認められない。

F1断層と広域応力場の関係

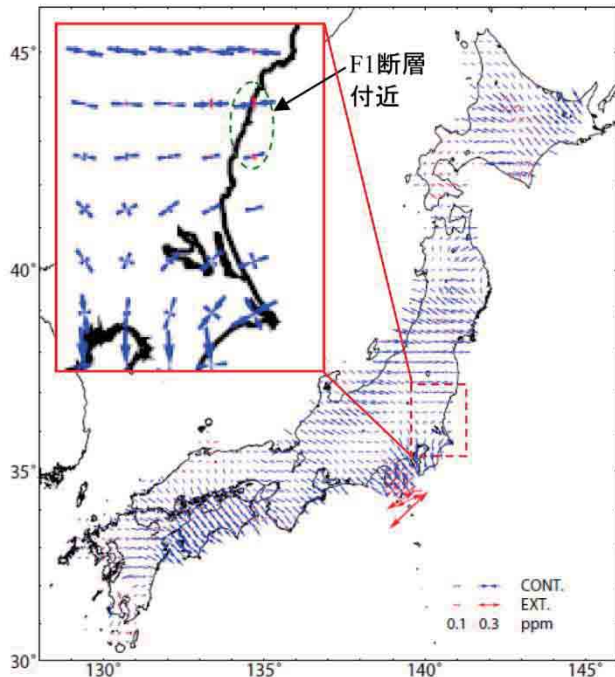
F1断層付近の広域応力場

GPS連続観測データから推定した定常時の歪み変化 比較用

GEONET F2解

基準期間：1997/10/11 ~ 1997/10/25

比較期間：1998/10/11 ~ 1998/10/25



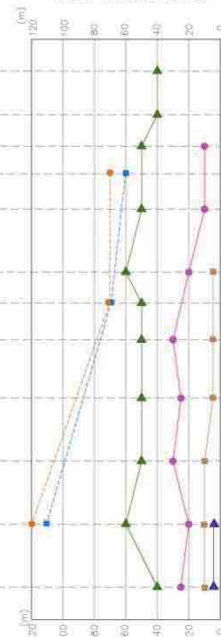
GPS座標値データに基づいて1年間の歪み変化図を作成した。座標値の15日分の平均値から1年間の変位ベクトルを算出し、それに基づいて歪みを計算している。上図期間は、定常時の変動を示す。

「国土地理院, 2009, 全国の地殻変動, 地震予知連絡協会報, 81」より引用

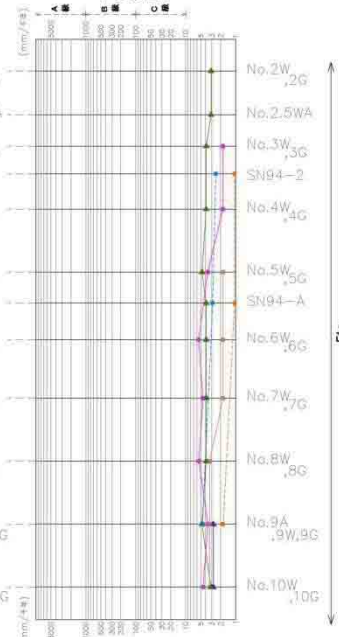
F1断層付近の広域応力場は、東西方向の圧縮場である。



変位量(断層の落下側:西)



平均変位速度



- ・現在の広域応力場でF1断層が活動する場合は、逆断層センスを示す。
- ・一方、F1断層は、いずれの測線でも西傾斜(70°前後)、西落ちの断層であり、逆断層として活動した形跡は認められない。

F1断層は、現在の広域応力場において地震を発生させる断層ではないと考えられる。

F 1 断層の評価

1. F1断層の全測線の音波探査記録

- ・F1断層はB3層上部よりも新しい地層に変位・変形が認められる箇所はない。

2. F1断層と海底地形の関係

- ・本海域は、海底地形の凹凸が顕著。
- ・断層直上の海底地形は、必ずしも東側が相対的に高い地形ではない。

3. F1断層周辺の地形，地質等の状況

- ・F1断層が、更新世以降繰返し活動し大きな地質構造を形成しているような形跡は認められない。
- ・現在の応力場を考慮すると、F1断層は地震を発生させるような断層とは考えられない。



F1断層は、耐震設計上考慮すべき断層ではないと考えられる。